

これまでの議論の整理（中間とりまとめ骨子案）

1. 保健師の研修に係る現状と課題

（1）保健師をめぐる地域保健関連施策等の動向

- 各分野における様々な制度改正等による保健師の配置や活動の変化
- 平成 24 年 7 月「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の改正
- 平成 25 年 4 月「地域における保健師の保健活動について」及び「地域における保健師の保健活動に関する指針」に示された保健師の人材育成や今後の保健活動等への期待
- 東日本大震災の支援等を通じた保健師による地域活動の意義の明確化

（2）保健師の人材育成に係る現状と課題

- 業務内容や配置の変化による保健師に求められる資質等への影響
- 自治体における保健師の人材育成指針等の策定状況
- 新任期、中堅期、管理期及び統括的な役割を担う保健師の人材育成の実情
 - ・各期の考え方の整理について
 - ・保健師に求められる能力の整理について
 - ・キャリアパス策定の必要性
 - ・関係機関等との連携状況
- 研修体制と人事管理との関連づけの必要性
- 保健師以外の職員を対象とした研修との関連性
- 産休・育休取得者へのキャリア継続支援

2. 体系的な研修体制の構築

（1）各自治体における体系的な研修体制構築の必要性

- 自治体や一般企業における研修体系の整備状況等
- 制度等の変化に応じた役割を果たせるよう研修体制を構築する必要性
- 自治体職員及び保健専門職の両側面からの人材育成の必要性

（2）既存の研修事業の位置づけの明確化と見直しの必要性

- 保健師を対象とした既存の研修事業の実施状況
- 自治体の実情や保健師のニーズに即した研修事業のあり方

（3）保健師の研修における関係機関等の連携のあり方

- 都道府県と市町村との連携
- 大学等の教育機関と自治体との連携
- 関係団体等が実施する研修の活用

3. 今後の議論の進め方